

とこなめ市議会だより

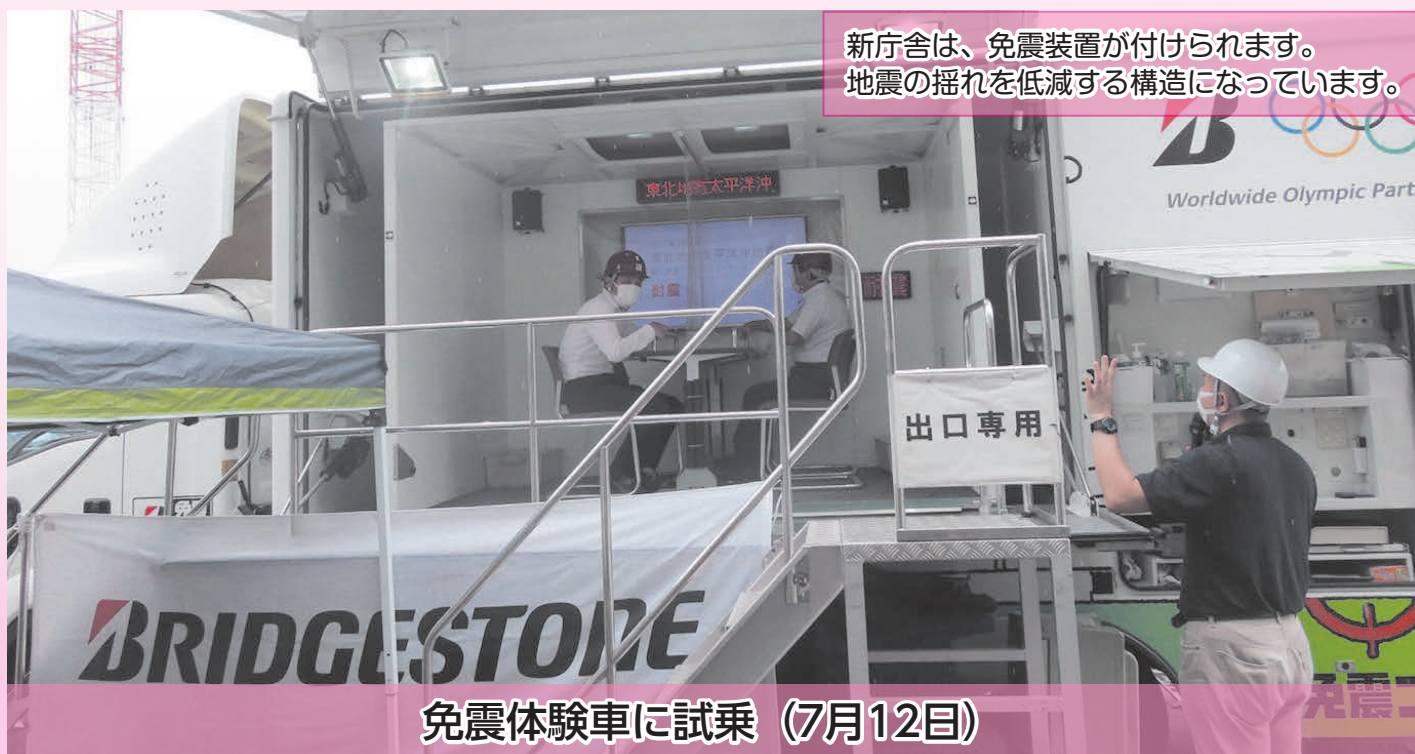
NO.
154

令和2年10月1日 編集/発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4丁目1番地
TEL : 0569-47-6128 (直通)
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



新庁舎建設工事の進捗状況 8月27日撮影



新庁舎は、免震装置が付けられます。
地震の揺れを低減する構造になっています。

免震体験車に試乗 (7月12日)



常滑市議会に関する定例会、委員会、協議会及び議長公務等の情報を中心に発信しています。



左記QRコードから市議会HP及びフェイスブックに簡単にアクセスできます。



一般質問録画映像
配信中



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。

公共施設調査特別委員会 活動報告

明治村（犬山市）にある帝国ホテル
旧本館を視察しました（7月17日）



帝国ホテル旧本館内部

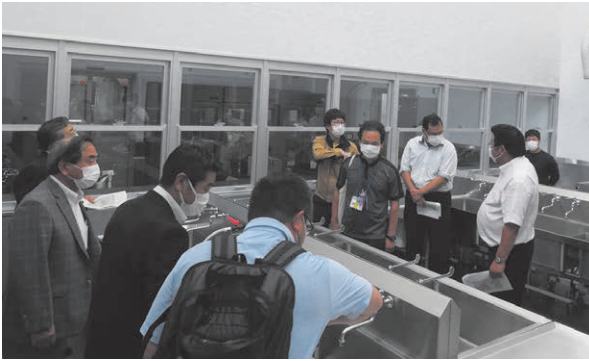
新庁舎2階エントランスと立体駐車場を結ぶ
歩行者用連絡デッキの壁面に、市民制作による
「黄色いスタレ煉瓦」スクラッチタイル・テラ
コッタ柱」を取り入れるプロジェクト『甞れ!!
「黄色い煉瓦」〜みんなでつくる新庁舎〜」を
市が企画している。

参考とするため、明治村にある帝国ホテル旧
本館（大正12年完成）を訪れ、当時、実際に使
用され、常滑でしか生産できなかったスクラッ
チタイルとテラコッタ柱を視察した。

実際に訪れてみると、およそ100年前に作ら
れたスクラッチタイルとテラコッタは、より重
厚感を増してい
るようで常滑焼
の歴史を肌で感
じられる空間で
あった。

新庁舎のエン
トランスと連絡
デッキがよりよ
いものとなるよ
うに今後も協議
していきます。

阿久比町立新学校給食センター
（AGUMOGU（アグモグ））を
視察しました（7月28日）



阿久比町立新学校給食センター内 調理室

本市では、現在、老朽化などに伴う学校給食
共同調理場の建て替えを検討している。

今回視察した阿久比町立新学校給食センター
では、調理員専用エリアを大きく3つに分け、
①汚染作業区域、②非汚染作業区域（加熱煎、
③非汚染作業区域（加熱後））としていた。食材
動線は①区域から③区域までの一方向で、①
区域で作業している調理員は②や③の区域に
は進入することができない構造になっており、
HACCP（ハ
サップ）基準に
基づき衛生管理
を徹底していた。
また、二階に
は見学ルートが
設けられ、作業
工程を見るため
のガラス窓には
傾斜を付け、幅
広い年齢の見学
者を想定してい
た。

議会改革特別委員会 活動報告

庁舎の移転に伴うIT・ICTの導入
について議論しています



委員会では、18項目の議会改革案が出され検
討を進めているが、令和3年度新庁舎移転に合
わせ、市民とのさらなる情報共有について話し
合いを進めている。主な検討事項を掲載。

①インターネットの環境整備
新庁舎では、新たに議員の執務室を設けるこ
とから、市役所での執務等が増える。今よりも
さらに市民に開かれた議会とするため、本会
議、委員会等を生中継（YouTubeを利用）
することなどが想定される。

②UDトーク（音声認識ソフトを活用した文字
表示システム）の整備
高齢者や耳の不自由な方に対して、言葉を伝
えるさらなる手段となる
ことが考えられる。

③タブレットの導入
新型コロナウイルス感
染症や災害時など有事の
際にオンライン会議等
を利用することができる。
会議等のペーパーレスを
行い、資料の閲覧、市民
への説明等を効率化す
る。

経済建設委員会 活動報告

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内各業界・団体のヒアリングをしました。
(7月21日、29日、8月4日、6日)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の各業界・団体の実状及び要望を聞くため、4日間に渡り、経済建設委員会が常滑商工会議所、常滑青年会議所、案内、観光業、航空業、農業、漁業等の計14団体のヒアリングを実施した。

全体を通じて新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きく、特に空港に関わる業界においては、従業員の雇用や会社存続にも関わるなどの意見もあった。

そのような状況を鑑み、また、一部ヒアリング実施団体からも要望があったため、令和2年8月11日の第2回市議会臨時会において「国際線早期復便に向けて検疫体制の拡充を求める意見書」を経済建設委員会から提案し、全会一致で可決した。
(主な内容は4ページに記載)



盛田昭夫塾を視察しました (7月20日)

ソニーの創業者であり、常滑市の名誉市民である盛田昭夫氏の記念館「盛田昭夫塾」が7月18日に小鈴谷にオープンした。

常滑の造り酒屋の十五代目当主として生まれ、ソニーを世界へと導いた昭夫氏の人生の歩みが紹介されている。

見どころは、若いころ付けていた日記や妻の良子さんに宛てた直筆の手紙である。それ以外にも、昭夫氏ゆかりの品、約250点が展示されており、世界中の政治家や音楽家をもてなした盛田邸のダイニングルームも再現されている。



7月18日にオープンした盛田昭夫塾

中部国際空港の現状をお聞きしました (7月28日)

中部国際空港株式会社の犬塚社長や筒井執行役員をお招きし、中部国際空港の近況についての説明を受けた。旅客数や国際線・国内線の便数等が前年同月比で大きく減少し、非常に苦しい経営状況と話をされた。

しかし、利用者が安心して空港を利用してもらえるよう、新型コロナウイルス感染症への対応として「新しい空港利用の11のポイント」を作成し、ご案内していくとのことであった。

また、市に対し、経済支援策やシャトルバス関係の要望があった。



筒井執行委員による説明

令和2年 第2回市議会臨時会審議結果

(8月11日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり承認、可決されました。

議案名	会派名	議員名																		
		山田 豪	西本 真樹	加藤代史子	成田勝之	渡邊十三香	伊藤 直	坂本直幸	井上恭子	大川秀徳	中村崇春	都築周典	伊奈利信	稲葉民治	相羽助宣	伊藤史郎	盛田克己	川原和敏	加藤久豊	
承認案第6号	令和2年度常滑市一般会計補正予算の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和2年度常滑市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和2年度常滑市病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第3号	国際線早期復便に向けて検疫体制の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

会派名の略 維…常滑維新の会、共…日本共産党議員団、公…公明党議員団、あ…新政あいちとこなめ、笑進…笑進会、新風…新風クラブ

国際線早期復便に向けて検疫体制の拡充を求める意見書(案)を全会一致で可決

新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大を続ける中、感染症拡大防止と経済活動の再開・拡充の両立が大きな課題である。

海外との往来規制が段階的に緩和される中、感染拡大防止のため、徹底した水際対策として、検査体制の拡充が急務である。

国は、当面、成田国際空港・羽田空港・関西国際空港にPCRセンターを設置し、検査検査体制を拡充するとの報道がなされている。

ものづくり産業を中心に我が国の経済成長を牽引する中部地域の空の玄関口である中部国際空港におけるPCR検査体制の拡充は、中部国際空港が位置する本市及び周辺地域の経済を回復軌道に乗せることと同時に地域の安全で安心な暮らしを守るために必要不可欠である。(抜粋)

そこで、本議会は政府に対して本意見書を提出した。



常滑市病院事業経営研究会 活動報告

この研究会は、市民病院の経営に関する諸問題について研究する目的で発足した。第1回目は、7月31日に開催した。

市民病院から令和2年4月から6月までの経営状況の報告があり、収益が新型コロナウイルス感染症の影響で15%の減収となった。要因の一つとして外来の受診控え、医師からも3か月後の受診などを勧めたことや令和2年3月からの夜間救急外来が制限されたことなどが考えられる。7月は、回復傾向との報告があった。

国や県からコロナ禍の医療機関や医療従事者に対する支援があり、対象となる補助金を申請し、新型コロナウイルス感染症による減収分の一部を補つたことであった。

経営改善策としては、医師の確保のため、大学医局と粘り強く交渉している。また、今年度の病床稼働率は、一般病棟で、50%程度に留まっているが、回復期リハビリ病棟では、患者が長期に入院可能で、病床を効率よく運営できるため、100%に近い。今後、回復期リハビリ病棟を増やしていくことで経営の安定化を図りたい旨の報告があった。

なお、一般会計からの繰入金金は、令和2年度より2億円減少し、6億円となり、県内17公立病院中、最も低い水準となっているとの報告もあった。

